

2020 年 IEEE 東京支部 総会資料

2020 年 4 月 3 日
IEEE 東京支部
<https://www.ieee-jp.org/section/tokyo/>

2020年IEEE東京支部総会

総 会

日 時： 2020年4月3日（金） 15時30分～16時00分

場 所： WEB会議（WebEx）

議 題：

第1号議案：2019年活動報告【以下、報告事項】

第2号議案：2019年決算報告

第3号議案：2020年活動計画

第4号議案：2020年予算

2019-2020 年 IEEE 東京支部役員・理事・委員会

1. 役員

Chair	支部長	徳田 英幸	(NICT)
Vice Chair	副支部長	宇佐見 正士	(KDDI)
Secretary	セクレタリ	滝嶋 康弘	(KDDI 総合研究所)
Treasurer	トレジャラ	羽渕 裕真	(茨城大学)

2. 理事会メンバー

*徳田 英幸 (NICT)	*稲森 真美子 (東海大学)
*宇佐見 正士 (KDDI)	*鈴木 浩 (日本経済大学大学院)
*滝嶋 康弘 (KDDI 総合研究所)	高野 忠 (元 宇宙航空研究開発機構)
*羽渕 裕真 (茨城大学)	吉田 嵩 (東京都立産業技術高等専門学校)
*奥村 治彦 (東芝)	笹瀬 巖 (慶応義塾大学)
*東盛 裕一 (ツルギフォトニクス財団)	杉江 利彦 (NTT エレクトロニクス)
*中村 浩史 (古河電気工業)	眞田 幸俊 (慶応義塾大学)
*種村 拓夫 (東京大学)	野田 夏子 (芝浦工業大学)
*川西 哲也 (早稲田大学)	重松 昌行 (住友電工)
*田中 英明 (KDDI 総合研究所)	

(注： *印は、理事会の Voting Member)

3. 常設委員会

Committee	Chair	Vice Chair	Secretary
Chapter Operations	奥村 治彦 (東芝)	坂東 幸浩 (NTT)	添谷 みゆき (東芝)
Fellow Nominations	東盛 裕一 (ツルギフォトニクス財団)	粕川 秋彦 (古河電工)	布谷 伸浩 (NTT)
Membership Development	中村 浩史 (古河電気工業)	井 通暁 (東京大学)	横田 知之 (東京大学)
Nominations	種村 拓夫 (東京大学)	笠 史郎 (明治大学)	雨宮 智宏 (東京工業大学)
Technical Program	川西 哲也 (早稲田大学)	桧垣 誠 (東芝)	菅野 敦史 (NICT)
Publications	田中 英明 (KDDI 総合研究所)	滝嶋 康弘 (KDDI 総合研究所)	吉原 貴仁 (KDDI 総合研究所)
Student Activities	稲森 真美子 (東海大学)	中村 聡 (神奈川大学)	植村 あい子 (日本大学)
History	鈴木 浩 (日本経済大学大学院)	山田 崇史 (NTT)	佐々木 美沙都 (KDDI)

IEEE 東京支部 2019 年 活動報告

Organizational Activities

- 2019 年 IEEE 東京支部総会 参加者 : 31 名
3 月 27 日 (水) 14 時 30 分~15 時 00 分
 - ・ 2018 年活動実績および会計、2019 年活動計画および予算が報告された。
- 理事会
 - ・ 第 1 回理事会 : 2019 年 3 月 27 日 (水) 12:00~13:50 参加者 : 19 名
 - ・ 第 2 回理事会 : 2019 年 6 月 12 日 (水) 15:00~17:05 参加者 : 17 名
 - ・ 第 3 回理事会 : 2019 年 9 月 30 日 (月) 15:00~17:05 参加者 : 17 名
 - ・ 第 4 回理事会 : 2019 年 12 月 11 日 (水) 15:00~18:45 参加者 : 17 名

Membership Development Activities

- 会員増加と維持の取組
 - ・ 2019 年 1 月 23 日に Chair, Vice Chair, Secretary で会合を開催。2019 年の活動方針の確認、課題の抽出、Japan Office との意見交換内容の共有などを行った。
 - ・ 今年度の活動計画 : MD 活動の課題への取り組み、JC MDC 会議への参加、IEEE 会員特典の周知、会員資格更新のリマインド、Senior Member・LM 候補の昇格申請の促進を進める。

Chapter Activities

- 国際会議の MOU 締結 : 5 件(Joint Chapter) (FCS : 1 件、TCS : 4 件)

Professional and Continuing Education Activities

- 講演会/見学会
 1. 2019 年 3 月 27 日(水) : 東京支部総会 講演会
講師 : 中村 淳一 氏 (Brillnics Japan)
演題 : 「CMOS イメージセンサの開発経緯と重要技術」
場所 : 機械振興会館

2. 2019年5月9日(木):「LMAG-Tokyo イブニングサロン」
講師:愛川 和彦 氏 (フジクラ・光ファイバ研究部長)
飯島 康裕 氏 (フジクラ・超電導研究部フェロー)
演題:「(1) 光ファイバ技術の最新状況 (2) 高温超電導技術の最新状況」
場所:機械振興会館
3. 2019年6月10日(木):東京支部 LMAG / TPC 共催講演会
講師:尾上 誠蔵 氏 (ドコモ・テクノロジー(株) 代表取締役社長)
演題:「5G (第5世代移動通信システム) の技術的特徴および社会的影響」
場所:NTT ドコモ ドコモ R&D センタ (横須賀リサーチパーク)
4. 2019年7月23日(火):東京支部 LMAG / TPC 共催講演会
講師:本山 英器 氏 (電力中央研究所 電力技術研究所 所長)
演題:「電力系統におけるサージ解析技術の変遷と絶縁設計への適用
—理論・アナログ回路解析から数値電磁界解析まで—」
場所:機械振興会館
5. 2019年8月30日(火):東京支部 LMAG 主催 / HC・TPC 共催 見学会・講演会
講師:平島 弘一氏 (三菱電機(株))
演題:「富士山気象レーダー」
場所:富士山レーダードーム館
6. 2019年9月4日(水):東京支部 LMAG / TPC 共催講演会
講師:平野 嘉仁 氏 (三菱電機(株) 半導体・デバイス事業本部 技術顧問)
演題:「風計測ライダの開発と応用」
場所:機械振興会館
7. 2019年10月29日(火):東京支部 LMAG / TPC 共催講演会
講師:伊藤 弘 氏 (北里大学 一般教育部 教授)
演題:「半導体ヘテロ接合ダイオードのテラヘルツ波応用」
場所:機械振興会館
8. 2019年11月7日(火):東京支部 LMAG / TPC 共催講演会
講師:日高 秀人 氏 (ルネサスエレクトロニクス(株) フェロー)

演題：「IoT/AI時代のエッジコンピューティングとMCU組込みシステムの果たす役割」

場所：機械振興会館

9. 2019年11月29日(金)：東京支部 LMAG 主催、HC/TPC 共催見学会・講演会

講師：中島 康之 氏 (KDDI 総合研究所 所長)

鈴木 正敏 氏 (KDDI 総合研究所 主席研究員)

演題：「KDDI 総合研究所紹介と 5G 技術の取り組みについて」

「空間多重光伝送技術の動向」

場所：株式会社 KDDI 総合研究所

10. 2019年12月16日(月)：東京支部 LMAG / TPC 共催講演会

講師：山田 功 氏 (東京工業大学 工学院 情報通信系 教授)

演題：「最適化数理と不動点理論の融合によって生まれた新世代の信号処理アルゴリズムについて」

場所：機械振興会館

11. 2019年12月18日(水)：東京支部 LMAG / TPC 共催講演会

講師：三村 高志 氏 (富士通研究所 名誉フェロー)、ほか

演題：「HEMT の発明と初期の研究開発」、ほか

場所：帝国ホテル

Students Activities

- 4月10日 電気通信大学 新入生向けレポートの書き方講座
- 5月23日 電気通信大学 LaTeX 講座
- 5月22日、6月5日、6月12日 東京農工大学 C 言語ワークショップ
- 10月5日 Tokyo SYWL Workshop & IEEE Day Party 2019
- 10月19日 TOWERS (筑波大学)

Affinity Group Activities

- Young Professionals (YP)
 1. 1月20日 キックオフミーティング
 2. 2月20日 瀬戸市 TISP イベント
 3. 3月9日 横浜市次世代育成事業
 4. 4月28日 The 3rd Tokyo YP Engineer' s Salon

- (東京都立産業技術高等専門学校荒川キャンパス)
5. 8月17~18日 Region 10 Conference Leadership Training Program
(Goa)参加
 6. 8月31日 エッセイコンテスト実施
(応募期限: 8月31日、表彰式: 10月25日)
 7. 9月15日 The 4th Tokyo YP Engineer' s Salon
(東京都立産業技術高等専門学校荒川キャンパス)
 8. 10月3日 青森県むつ市第二田名部小学校出張授業
 9. 10月5日 Tokyo SYWL Workshop & IEEE Day Party 2019
 10. 10月16~20日 TENCON2019 (Kochi)参加
 11. 10月19日 TOWERS (筑波大学)
 12. 10月24~25日 仙台支部 MAW (24日)、Japan SYWL Workshop/
仙台 LMAG 設立イベント(25日)参加
 13. 12月21日 論文の書き方講座
(東京都立産業技術高等専門学校荒川キャンパス)

● Life Members Affinity Group(LMAG)

1. 3月27日 2019年 LMAG 総会開催
2. 3月27日 東京支部総会講演会を TPC と共催
3. 5月9日 LMAG イブニングサロン (第3回) 開催
4. 仙台支部 LMAG 設立への協力
5. 5月30日 LMAG-Tokyo ニュースレター発行
6. 6月10日 第3回東京支部講演会開催 (LMAG 主催、TPC 共催)
7. 7月23日 第4回東京支部講演会開催 (LMAG 主催、TPC 共催)
8. 8月30日 第5回東京支部 見学会・講演会開催
(LMAG 主催、HC・TPC 共催)
9. 9月4日 第6回東京支部講演会開催 (LMAG 主催、TPC 共催)
10. 10月29日 第7回東京支部講演会開催 (LMAG 主催、TPC 共催)
11. 11月7日 第8回東京支部講演会開催 (LMAG 主催、TPC 共催)
12. 11月29日 第9回東京支部 見学会・講演会開催
(LMAG 主催、HC・TPC 共催)
13. 12月16日 第10回東京支部講演会開催 (LMAG 主催、TPC 共催)
14. 12月18日 IEEE Milestone 講演会 (HC 主催)

Awards & Recognition Activities

- 2019年 新 Fellow 表彰式

2019年 3月 27日 (水) 16:20~17:00

2019年新 Fellow に昇格された 5名が表彰式に出席した。

- Milestone 贈呈式

2019年 12月 18日 (水) 11時 00分~11時 30分

東京の帝国ホテルにて、「High Electron Mobility Transistor (HEMT)」の IEEE Milestone 記念式典が開催され、福田敏男 IEEE 次期会長より、原裕貴 富士通研究所社長へ、銘板が贈呈された。

Communication Activities(Newsletter, Home Page, E-mail etc.)

1. IEEE Tokyo Bulletin の作成、発行

- ・ IEEE Tokyo Bulletin No.116 メルマガ発行 (1月 24日)
- ・ IEEE Tokyo Bulletin No.117 メルマガ発行 (5月 8日)
- ・ IEEE Tokyo Bulletin No.118 メルマガ発行 (7月 8日)
- ・ IEEE Tokyo Bulletin No.119 メルマガ発行 (10月 18日)
- ・ IEEE Tokyo Bulletin No.120 メルマガ発行 (12月 27日)

2. ホームページ更新

[IEEE 東京支部]

- ・ TOP ページ (2019 IEEE-Level Award 受賞者・新着追加 総会案内・Tokyo Bulletin No.116~No. 118・総会報告)
- ・ 役員理事 メンバ更新
- ・ 2019年 主催・共催講演会 追加
- ・ 2019年 協賛イベント 追加
- ・ 2019年 IEEE 東京支部 総会・講演会・新 Fellow 表彰式 ご案内
- ・ 2019年 IEEE 東京支部 総会/LMAG 総会 開催報告 活動報告

[IEEE ジャパンカウンシル]

- ・ 理事会構成 メンバ更新
- ・ 会員構成 最新データへ更新
- ・ 2018 第3回理事会議事録掲載
- ・ 2019年 Japan Council 活動計画
- ・ New Fellows(2019) /Senior Member 2019 更新

(総会一第 1 号議案)

[東京支部/JC HP 全般]

- ・本部 Web Site 変更に伴う、関連ページ・リンク等の更新

Other Organizational Activities

- Region 10 Meeting 2019 が Melbourne (オーストラリア) で開催され、東京支部より徳田 Chair、宇佐見 Vice Chair が参加した。(3 月 2 日 (土)、3 日 (日))
- IEEE Tokyo Section SIGHT 支援イベントとして、10 月 3 日に青森県むつ市第二田名部小学校出張授業を実施

以上

会員の状況

1. 東京支部会員数

(各年の12月末の会員数)

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
2000	6,961	268	4.00	-	265	416	5,259	727	294
2006	7,580	-128	-1.66	2	335	465	5,714	481	583
2007	7,560	-20	-0.26	2	334	451	5,722	491	560
2008	7,630	70	0.93	2	336	459	5,731	449	653
2009	7,814	184	2.41	2	336	459	5,880	408	729
2010	7,865	51	0.65	2	331	473	5,937	401	721
2011	7,763	-102	-1.30	2	335	497	5,800	416	713
2012	7,987	224	2.89	2	343	511	5,959	372	800
2013	7,911	-76	-0.95	2	342	507	5,937	280	843
2014	7,849	-62	-0.78	2	346	517	5,985	245	754
2015	7,892	43	0.55	2	343	521	5,975	234	817
2016	7,835	-57	-0.72	2	343	532	5,982	210	766
2017	7,798	-37	-0.47	2	338	555	5,886	197	820
2018	7,850	52	0.67	2	333	569	5,892	202	852
2019	7,761	-89	-1.13	2	332	588	5,838	183	818

2. 全日本会員数

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
1956	50								
1964	666			1	8	105	302	99	151
1970	1,179	73	6.60	1	21	145	735	109	168
1975	1,915	198	11.53	-	46	173	1,400	99	197
1980	2,844	173	6.48	-	79	242	2,206	131	186
1985	4,249	253	6.33	1	144	331	3,404	197	172
1990	6,650	486	7.88	1	202	441	5,183	600	223
1995	8,892	547	6.55	1	288	552	6,643	1,021	387
2000	10,867	492	4.74	1	386	628	8,147	1,083	622
2005	12,703	450	3.67	3	480	711	9,494	800	1,215
2010	13,770	96	0.70	4	517	775	10,205	675	1,594
2015	14,326	95	0.67	4	521	915	10,594	401	1,891
2016	14,266	-60	-0.42	3	519	935	10,631	369	1,809
2017	14,214	-52	-0.36	3	509	974	10,494	361	1,873
2018	14,368	154	1.08	3	493	991	10,532	363	1,986
2019	14,232	-136	-0.95	3	489	1,050	10,385	336	1,969

略号： HM: Honorary Member

F: Fellow

SM: Senior Member

M: Member

A: Associate

St: Graduate Student, Student

IEEE 東京支部 2019年会計報告(1~12月) 活動ベース

2020.1.20

単位: JPY

¥105 で試算(18年8月末 TTB¥110 -¥5)

【収入の部】	2019年予算	中間 (10月末)	2019年結果	予算比	備考
210 Meetings & Social Events					
定期開催 会議/懇親会参加費収入	0	108,000	108,000	-	講演会等の懇親会徴収分(5/8,6/14LMAGイベント懇親会会費徴収)
290 Project Revenues					
不定期開催 会議/イベント 収入	0	108,000	349,015	-	YPイベント支援 (横浜市)
310 Rebate from IEEE HQ					*本部指定の換算レートにて暫定計算 (1 \$ = 109.65)
支部Rebate	3,007,095	3,138,260	3,138,260	104%	US\$28620.7 (= (2,000+23,837)*1.1+200)
YP Rebate	30,975	32,347	32,347	104%	US\$295 (= 200*1.1+75)
LMAG Rebate	30,975	24,123	24,123	78%	US\$220 (= 200*1.1)
SB Rebate	0	21,670	21,670	-	
Chapter Rebate	917,175	973,253	973,253	106%	US\$8240 (= (600+5,800)*1.1+1,200)
320 Region Receipts					
LMAG FUND	0	0	0	-	
YP FUND	131,250	0	81,428	-	2018年分
その他 Fund等	0	-206,607	71,471	-	SIGHT HAC event Funding (WIE ILS) Return unspent fund,R10 Section Incentive for2019 (US\$2550)
330 Sections or Councils					
JCからのSection Assessment還元	2,235,020	2,128,283	2,193,283	98%	SA総額の15%
332 Receipts from MGA(RAB, other Major Boards)					
監査費用サポート	176,800	176,800	176,800	100%	
334 IEEE HQ & Societies					
本部からのSection Assessment受取	14,900,130	14,188,556	14,621,891	98%	*換金手数料1500円を含めた総額
340 雑収入 (CB口座)	9,000	29,083	35,232	391%	
345 雑収入 (CB以外)	1,000	79	81	8%	
収入合計	21,439,420	20,721,847	21,826,854	102%	
【支出の部】					
410 Meetings & Social Events					
理事会・各委員会費	50,000	15,420	44,715	89%	
その他会合費	50,000	0	3,080	6%	マイルストーン贈呈式関連費用 (バナー送付)
総会運営費用	650,000	611,904	611,904	94%	
講演会開催費用	400,000	323,449	502,671	126%	懇親会会費徴収分 108,000円と相殺が実際の費用 (394,671円)
480 Student Activities					
SB支援費	700,000	108,817	293,216	42%	
SB Rebate支払	0	75,407	75,407	-	
490 Other Program Expenses					
LMAG活動費 (Rebate & Fund & 支部補助)	130,975	12,672	103,611	79%	Fund等込み (支部支援 ¥100,000-)
YP活動費 (Rebate & Fund & 支部補助)	462,225	187,345	807,067	175%	Fund等込み (支部支援 ¥300,000-) *2017,2018年度受領FUND未送金分含む (650ドル)
YP活動費 (Rebate & Fund & 支部補助)		-217,680	-217,680		2019年未払分組み戻し ILS SIGHT funding 返金(2018年度事業分)
550 Support to Sections/Chapters					
Councilへの拠出金	14,900,130	14,187,056	14,618,891	98%	*換金手数料1500円×2回分を控除した金額 (手数料は事務局費3に振り分け)
Chapter Rebate 支払い	917,175	0	959,241	105%	
事務局費1 計	2,500,000	208,333	2,485,062	99%	(注釈1) JC共通事務局費 主に給料諸給/事務所賃貸料/事務機器リース等 (20%を東京支部負担)
事務局費2 計	175,000	145,833	138,031	79%	(注釈1) JC共通事務局費 サー/運営費 (25%を東京支部負担)
事務局費3 計	342,800	201,386	312,887	91%	東京支部 監査費用・手数料・備品等
予備費	700,000	0	0	0%	
支出合計	21,978,305	15,859,942	20,738,103	94%	
未払い組み戻し (YP活動費 (支部補助))			-15,000		
収入-支出	-538,885	4,861,905	1,103,751		
前年度からの繰越金	7,753,146		7,753,146		
次年度への繰越金 (総額 活動基準) (※)	7,214,261		8,856,897		(3,000,000円以上を半年分の運用資金とする)

(注釈1: 事務局費1~2については予算月割りの暫定額にて報告)

■ 12月末日 現預金残高(三井住友銀行+CB+小口)

11,520,783

内訳 普通預金	10,626,621	確認済み
小口現金	20,000	
東京YP口座	423,722	確認済み
CB口座	450,440	確認済み

*為替差損調整済み

2019年度IEEE 東京支部 決算報告書 (本部報告/監査)

本部報告 (YP口座・本部引当金を含む)、監査基準

科 目	2019年12月31日	2018年12月31日
Balance Sheet		
I. 資産の部		
1. 流動資産		
○現金	20,000	20,000
○普通預金	10,626,621	9,641,369
○普通預金 (YP)	423,722	605,067
○CB預金	450,440	514,910
◇現金・預金合計	11,520,783	10,781,346
◇その他流動資産	※1 278,078	248,040
流動資産合計 :	11,798,861	11,029,386
2. 固定資産		
◇電話加入権	145,600	145,600
固定資産合計 :	145,600	145,600
資産合計 :	11,944,461	11,174,986
II. 負債および純資産の部		
1. 流動負債		
2. 固定負債 (本部)		
負債合計 :	※2 2,941,964	3,276,240
3. 正味財産		
負債および正味財産合計 :	9,002,497	3,277,505
	11,944,461	6,553,745
		4,621,241
		11,174,986
Profit and Loss		
I. 収益の部		
2. 10) 会議等参加費	108,000	92,506
2. 90) 不定期開催 会議/イベント収入	349,015	
3. 10) 本部からのRebate受取	4,189,653	4,255,762
3. 20) 本部からのFund受取	152,899	791,759
3. 30) Councilからの受取 (SA還元分)	2,193,283	2,012,234
3. 32) その他本部からの受取	176,800	176,800
3. 34) 本部からのSection Assessment 受取	14,621,891	15,478,723
3. 40/3. 45) 受取利息	35,313	22,749
3. 70) その他受取	-	-
3. 90) Reserve Allocation Income	3,277,505	-
収益合計 :	25,104,359	22,830,533
II. 費用の部		
4. 10) 会合費	1,162,370	1,284,203
4. 80) Student Branch支援費	368,623	213,811
4. 90) その他活動費	677,998	1,647,972
5. 10) 事務所賃借料	562,443	557,978
5. 20) 交通費	-	-
5. 30) 給料諸給	1,293,240	1,551,301
5. 50) 支部およびChapter支援	15,578,132	16,453,094
5. 60) 事務局費および一般管理費	1,080,297	633,023
7. 00) Reserve Allocation Expense (本部)	-	-
費用合計 :	20,723,103	22,341,382
正味財産増減額	4,381,256	489,151
期首正味財産	4,621,241	4,132,090
期末正味財産	9,002,497	4,621,241

(総会—第2号議案)

科 目	2019年12月31日	2018年12月31日
Statement of Cash Flows		
I. 収入の部		
2. 10) 会議等参加費	108,000	92,506
2. 90) 不定期開催 会議/イベント収入	349,015	
3. 10) 本部からのRebate受取	4,189,653	4,255,762
3. 20) 本部からのFund受取	130,852	578,576
3. 30) Councilからの受取 (SA還元分)	2,193,283	2,012,234
3. 32) その他本部からの受取	176,800	176,800
3. 34) 本部からのSection Assessment 受取	14,621,891	15,478,723
3. 40/3. 45) 受取利息	35,313	22,749
収入合計 :	21,804,807	22,617,350
II. 支出の部		
4. 10) 会合費	1,210,024	1,190,459
4. 80) Student Branch支援費	479,020	112,112
4. 90) その他活動費	1,039,483	1,151,321
5. 10) 事務所賃借料	557,978	557,065
5. 20) 交通費	-	-
5. 30) 給料諸給	1,551,301	1,564,932
5. 50) 支部およびChapter支援	15,578,132	16,453,094
5. 60) 事務局費および一般管理費	649,432	658,479
支出合計 :	21,065,370	21,687,462
現金・預金増減額	739,437	929,888
期首現金・預金残高	10,781,346	9,851,458
期末現金・預金残高	11,520,783	10,781,346

※1) 2019年度 未収 Fund (本部)

※2) 2019年度 未払 SB支援費・YP活動費、および事務局費 (Japan Council立替分)

Report of Independent Accountants

To the Chair of IEEE Tokyo Section

We have audited the accompanying IEEE ANNUAL GEOGRAPHIC UNIT FINANCIAL REPORT of IEEE Tokyo Section expressed in Japanese yen as of and for the year ended December 31, 2019.

The financial reporting package is the responsibility of IEEE Tokyo Section's chair. Our responsibility is to express an opinion on the financial reporting package based on our audit.

Except as discussed in the following paragraph, we conducted our audit in accordance with generally accepted auditing standards. Those standards require that we plan and perform the audit to obtain reasonable assurance about whether the financial reporting package is free of material misstatement. An audit includes examining, on a test basis, evidence supporting the amounts and disclosures in the financial reports. An audit also includes assessing the accounting principles used and significant estimates made by chair, as well as evaluating the overall adequacy of the presentation of the information in the financial reports. We believe that our audit provides a reasonable basis for our opinion.

We were unable to obtain sufficient appropriate evidence supporting Reserve Allocation Income stated at JPY3,277,505 at December 31, 2019; nor were we able to satisfy ourselves as to the carrying amount of the bank account and the income by other auditing procedures.

The accompanying financial reporting package has been presented solely to enable IEEE HQ to prepare consolidated financial information and not to report on IEEE Tokyo Section as a separate entity. Accordingly, the financial reporting package is not intended to present fairly the financial position of IEEE Tokyo Section as of December 31, 2019 or the result of its operation for the year then ended in conformity with generally accepted accounting principles.

In the circumstances, we are unable to and do not express an opinion on whether financial information in the accompanying financial reporting package is present fairly in accordance with generally accepted accounting principles.

However, in our opinion, except for the effects of such adjustments, if any, as might have been determined to be necessary had we been able to examine evidence regarding the bank account and the payable, the financial information contained in the accompanying financial reporting package of IEEE Tokyo Section as of and for the year then ended December 31, 2019 has been properly prepared, in all material respects, to give the information required to be shown in accordance with the procedures in the L50 Financial Report Form and Instructions on the IEEE Web-site.

The report is intended solely for the use of IEEE HQ in connection with the preparation and audit of IEEE financial information. It should not be used for any other purpose.

Mori & Co.

Mori & Co.

February 21, 2020

IEEE 東京支部 2020 年 活動計画

1. 総会及び理事会

- 2020 年 IEEE 東京支部総会
4 月 3 日(金) 15 時 30 分～16 時 00 分 開催予定
- 理事会
以下日程にて開催予定
第 1 回理事会: 2020 年 4 月 3 日(金) 12:00～14:00 機械振興会館
第 2 回理事会: 2020 年 6 月 3 日(水) 15:00～17:30 KDDI(株)飯田橋
第 3 回理事会: 2020 年 9 月 30 日(水) 15:00～17:30 KDDI(株)飯田橋
第 4 回理事会: 2020 年 12 月 2 日(水) 15:00～17:30 機械振興会館

2. 財政運営

7 年前の円高に対応し、2013-14 年執行部により効果的な財政的な運用が行われた。その後の円安もあり、2019 年収支は健全。しかしながら為替変動は予断を許さないため円高リスクも考慮し安定した運営を目指す。2020 年では、会員獲得、会員継続、学会加入価値の向上に繋がる活性化施策を増やすなど、より積極的な運営をこころがける。

3. 講演会・学生支援活動

- 東京支部講演会の開催
Technical Program Committee を中心に、多くの支部会員に参加してもらえるように広範囲な分野の講演会を企画する。LMAG(Life Members Affinity Group)、YP(Young Professionals)ほか各グループとの共催を積極的に推進する。
- Students Branch の支援
東京支部の学生ブランチの数は、東京大学、東京工業大学、慶應義塾大学、横浜国立大学、東京都市大学(旧 武蔵工業大学)、東京電機大学、明治大学、東京理科大学、早稲田大学、中央大学、東京農工大、電気通信大学、青山学院大学の 13 校で、日本全国の学生ブランチはその他、静岡大学、大阪大学、熊本大学、北海道大学、東北大学、立命館大学、京都大学、山口大学、香川大学、奈良先端科学技術大学院大学、名古屋大

学、兵庫県立大学、徳島大学、関西大学、同志社大学、福井大学、琉球大学、会津大学、広島支部 SB、信越支部 SB、室蘭工業大学 SB があり(全国合計 34 校)、それぞれ学生を中心として IEEE 活動が展開されている。

学生ランチ活動の促進として、Region 10 主催の学生生活動への積極的な参加の呼びかけやランチ活動への経済的支援などを通じたランチ活動の活性化に協力するとともに、ランチ新設への働きかけを行う。

4. 若手会員及び Life 会員向け活動の活性化

2010 年 10 月に設立された Tokyo Life Members Affinity Group を中心に Life 会員自身の活動の活性化を支援する。また 2008 年 11 月に設立された Tokyo Young Professionals を中心に若手研究者の活性化支援を行う。さらに LMAG、YP に加え、Student Branch・Japan Council、Women in Engineering との世代・分野・所属を超えた連携・交流を推進する。

- **Young Professionals**

2018 年 11 月で設立 10 周年の節目を迎えたことから、次のステップに向けた活発な活動を行う。

- **Life Members**

4 月 3 日(金) 14:30~15:00 LMAG 総会

LMAG 見学会、サロンなど、引き続き Life 会員の交流を行う。

5. 認定及び表彰支援

- **Milestone 認定支援**

2014 年、日本で初めての Section 傘下の History Committee を常設委員会として発足した。今後も、Milestone 認定への取り組みを引き続き積極的に行う。

- **IEEE Fellow の推薦支援**

「より多くのノミネーションを得る」「確実な昇格を果たすための支援・協力を行う」「WEB を活用した効率的なノミネーションプロセスの推進を行う」という昨年までの方針を維持・強化する。具体的には、2012 年からの施策を継続し、ノミネーションのための情報などを支部ホームページに掲載することによるミネータ支援の強化を図るとともに、Fellow、支部会員、各研究機関への電子メールを通じての広報を推進することで推薦数増を図り、Fellow への昇格数の増加を図る。

6. 会員とのコミュニケーションと会員の拡大 (Newsletter, Home Page, E-mail etc.)

- **ホームページと Tokyo Bulletin**

東京支部ホームページの内容更新および拡充を進め、会員への情報サービスの向上を図る。Publications Committee が発行する IEEE Tokyo Bulletin (日本語、英語)を通じて、インターネットによる会員へのタイムリーな情報配信を行う。

- **会員数の増強**

会員数の増加率の低迷を改善するため、引き続き Membership Development Committee の活動の活性化、会員サービスおよび広報活動の強化などを通じて会員数の増加を図る。また、高グレード会員 (Fellow + Senior Member) の比率が、IEEE の全体平均より低い水準にあることを踏まえて、Senior Member の増強に向けた施策を検討する。さらに、ホームページによる情報発信および効果的な活用を進め、支部独自の表彰制度の新設についての検討も行う。

7. Industry Promotion 活動の強化

東京支部が主催した MAW2015 に続き、関西支部主催で MAW2016、名古屋支部主催で MAW2017、福岡支部主催で MAW2018、2019 年は仙台支部主催で MAW2019 が開催され、東京支部からも参加した。引き続き 2020 年には広島支部にて MAW2020 開催を予定しているため支部からも参加し成功に向け支援を行う。

8. 東京支部が所管となる Joint Chapter の運営支援

2014 年より着手していた施策である従来 Japan Council に所属していた各 Chapter を適切な支部に所属させる移行手続きは、本部への申請が 2016 年度に全て完了した。Chapter の移行支援を行っていた東京支部 Chapter Promotion Committee は 2016 年より Chapter Operation Committee と改めた。東京支部所管の Chapter に関する MOU 締結審議等の運営支援を継続して行う。

9. 関連組織との連携、協力

- **Japan Council 運営の支援**

国内他支部 (8 支部) との連携を強化し、日本全体としての IEEE 活動の活性化に積極的に協力する。

- **IEEE 本部、R10 との連携**

Section Congress や Region 10 Annual Meeting に参加し、他参加者との交流を図る。
本部役員の訪日に対し、IEEE Japan Office と連携して、懇談会、講演会等を企画し、情報交換を行う。

また、各種国際会議を積極的に開催・参加する。

本部および Region 10 の各種委員会メンバーおよび各種 Award に対して、東京支部から積極的に推薦する。

- **ボストン支部およびソウル支部との交流**

2002 年 10 月に調印を行ったボストン支部、2006 年 6 月に調印を行なったソウル支部との姉妹支部協定をふまえて、両支部との交流を推進する。特に新たに姉妹協定を結んだソウル支部とは、2008 年から実施している学生英語論文コンテストを継続開催するとともに、さらに交流活動として学生の交流を中心とした共同イベントをソウルまたは東京で開催することを計画する。東京支部のみならず、広く日本の IEEE の学生活動の活性化につながるよう活動を推進する。

- **国内学会との協力関係の推進**

IEEE 本部の国内学会との協働に関するルールに沿って、国内関連学会との協力関係を推進する。MOU 更新作業を継続する。

- **TENCON2020 の実施支援**

大阪で開催される TENCON2020 に対して、国内他支部とも協調の上、準備および現地での開催において、支援を行う。

以上

IEEE 東京支部 2020年計画案 (活動ベース)

2020.**.**

単位: JPY

2019年予算: US\$1= ¥105-

¥103 で試算(19年10月末 TTB¥108-¥5)

【収入の部】	2019年予算	2019年決算	2020年予算案	備考
210 Meetings & Social Events 定期開催 会議/懇親会参加費収入	0	108,000	0	講演会等の懇親会徴収分
290 Meetings & Social Events 不定期開催 会議/イベント 収入	0	349,015	0	YPイベント支援 (横浜市)
310 Rebate from IEEE HQ 支部Rebate	3,007,095	3,138,260	2,947,860	\$28,620- (予測)
YP Rebate	30,975	32,347	30,385	\$295- (予測)
LMAG Rebate	30,975	24,123	30,385	\$295- (予測)
SB Rebate	0	21,670	0	
Chapter Rebate	917,175	973,253	848,720	\$ 8,240- (予測)
320 Region Receipts LMAG FUND	0	0	0	
YP FUND	131,250	81,428	51,500	\$500- (予測)
その他 Fund等	0	71,471	0	
330 Sections or Councils JCからのSection Assessment還元	2,235,020	2,193,283	2,192,448	SA総額の15%
332 Receipts from MGA(RAB, other Major Boards) 監査費用サポート	176,800	176,800	176,800	
334 IEEE HQ & Societies 本部からのSection Assessment受取	14,900,130	14,621,891	14,616,318	\$133,312-(2019年実績)
340 雑収入 (CB口座)	9,000	35,232	9,000	
345 雑収入 (CB以外)	1,000	81	3,000	
収入合計	21,439,420	21,826,854	20,906,416	
【支出の部】				
410 Meetings & Social Events 理事会・各委員会費	50,000	44,715	250,000	(20年は12月懇親会分含む)
その他会合費	50,000	3,080	200,000	マ礼スト関連費用等
総会運営費用	650,000	611,904	650,000	
講演会開催費用	400,000	502,671	600,000	
480 Student Activities SB支援費	700,000	293,216	700,000	
SB Rebate支払	0	75,407	0	
490 Other Program Expenses LMAG活動費 (Rebate & Fund & 支部補助)	130,975	103,611	100,385	支部からの支援70,000円
YP活動費 (Rebate & Fund & 支部補助)	462,225	807,067	686,885	Fund等込み (支部支出 ¥605,000-)
SIGHT (Fund支払)	0	-217,680	0	
550 Support to Sections/Chapters Councilへの拠出金	14,900,130	14,618,891	14,616,318	
Chapter Rebate 支払い	917,175	959,241	848,720	
事務局費1 計	2,500,000	2,485,062	2,500,000	JC共通事務局費 主に給料諸給/事務所賃貸料/事務機器リース等 (20%を東京支部負担) JC共通事務局費
事務局費2 計	175,000	138,031	250,000	サーバ運営費 (25%を東京支部負担) *全体で100万円計上予定
事務局費3 計	342,800	312,887	342,800	東京支部 監査費用・手数料・備品等
予備費	700,000	0	800,000	R10Meet,SC,TENCON参加支援など想定
支出合計	21,978,305	20,738,103	22,545,108	
未払組み戻し (YP活動費)		-15,000		
収入-支出	-538,885	1,103,751	-1,638,692	
前年度からの繰越金	7,753,146	7,753,146	8,856,897	
次年度への繰越金 (総額 活動基準) (※)	7,214,261	8,856,897	7,218,205	(※3,000,000円以上を半年分の運用資金とする)

2020年東京支部新Fellow

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	神鳥 明彦 Akihiko Kandori	日立製作所	<i>for contributions to superconductive magnetocardiography and diagnostic technology</i>
2	東京	高西 淳夫 Atsuo Takanishi	早稲田大学	<i>for contribution to the development of humanoid robots</i>
3	東京	森 睦宏 Mutsuhiro Mori	日立パワーデバイス	<i>for contributions to high voltage insulated gate bipolar transistor for traction and high voltage systems</i>
4	東京	鈴木 雄二 Yuji Suzuki	東京大学大学院	<i>for development of electret materials</i>
5	東京	胡 振江 Zhenjiang Hu	北京大学 国立情報学研究所	<i>for contributions to robust software development</i>

2020年他支部新Fellow

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	関西	井上 晃 Akira Inoue	三菱電機	<i>for development of inverse class-F power amplifiers for mobile phones</i>
2	関西	田畑 修 Osamu Tabata	京都大学	<i>for contributions to the development and commercialization of micro electro mechanical systems</i>
3	四国	神野 正彦 Masahiko Jinno	香川大学	<i>for contributions to elastic optical networks and C-and L-band transmission systems</i>

2020年IEEE Medals, Technical Field Awards, 日本からの受賞者

【Medals】

No.	名称	氏名	<i>Citation</i>
1	IEEE ROBERT N. NOYCE MEDAL	香山 晋 (K. Associates)	<i>For global executive leadership in CMOS technology development, and for standardization of design methodology and its impact on the semiconductor industry.</i>

【Technical Field Awards】

No.	名称	氏名	<i>Citation</i>
1	IEEE ELECTRONICS PACKAGING TECHNOLOGY AWARD	小柳 光正 (東北大学)	<i>For pioneering contributions leading to the commercialization of 3D wafer and die level stacking packaging.</i>
2	IEEE RICHARD HAROLD KAUFMANN AWARD	松瀬 貢規 (明治大学)	<i>For pioneering contributions to the advancement of sensorless vector control of AC drives and multilevel inverters for industrial applications.</i>
3	IEEE FREDERIK PHILIPS AWARD	矢野 和男 (日立製作所)	<i>For leadership in the development and materialization of human-centric IoT technology in the electronics industry.</i>
4	IEEE Innovation in Societal Infrastructure Award	喜連川 優 (N I I)	<i>For contributions to big data collection and analytics of real-world problems with advanced data engineering technologies.</i>
5	IEEE Nikola Tesla Award	千葉 明 (東京工業大学)	<i>For contributions to big data collection and analytics of real-world problems with advanced data engineering technologies.</i>

The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. Tokyo Section Bylaws

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Bylaws, Constitution, RAB Operations Manual and IEEE Policy and Procedures will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

Article I - Name and Territory

1. This organization shall be known as the Tokyo Section of The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc., hereinafter called the IEEE Tokyo Section.
2. The territory of the IEEE Tokyo Section, as approved by the Regional Activities Board, shall be the Kanto district in Japan with postal codes starting 100 through 379 and 400 through 409. (Note: The members whose postal codes are not recorded in the IEEE database shall tentatively belong to the Tokyo Section until they are clarified.)

Article II - Officers

1. The elected officers of the Section shall be the Chair, Vice Chair, Secretary and Treasurer, hereinafter called the Section Officers. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.
2. The terms of office of the elected officers shall be for two (2) years.
3. The terms of office will begin on 1 January but in any case the outgoing Officers will continue until their successors are duly elected and take office.
4. Any vacancy occurring during the years shall be filled for the remainder of the term by a majority vote of the Section Executive Committee.
5. The consecutive period of service in any one office shall not exceed three years. However, an office may not serve more than one successive two-year term without approval of the Regional Director.
6. The duties of the Section Officers will be available from Regional Activities Department (RAD).

Article III - Standing Committees

1. The Standing Committees of the Section will be as follows:
 - Chapter Operations
 - Fellow Nominations
 - Membership Development
 - Nominations
 - Technical Program
 - Publications
 - Student Activities
 - History
2. The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and its term will correspond to the elected officers.
3. Each Standing Committee Chair will appoint his/her committee members with approval from the Section Executive Committee, and their terms will correspond to the elected officers.
4. Duties of the Standing Committees will be available from Regional Activities Department (RAD).

Article IV - Management

1. The management of the IEEE Tokyo Section shall be conducted by the Section Executive Committee which shall consist of the elected Officers, the Past Section Chair, the Standing Committee Chairs, representatives from Society Chapters and such other members appointed by the Section Chair and/or Section Executive Committee. The number of the Section Executive Committee members shall not exceed nineteen (19) and the number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.
2. A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.
3. A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of Section business.
4. Meetings of the Section Executive Committee will be held at least four (4) times a year, and will be called by the Chair or by a request of any three (3) members of the Section Executive Committee.
5. The fiscal year of the Section shall be 1 January - 31 December.

Article V - Nomination and Election of Officers

1. The Nominations Committee consisting of three (3) or more members, not then Section Officers, shall be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.
2. The nominations by the Nominations Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of twenty-eight (28) days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by two percent (2%) or more voting membership.
3. If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot mailed to the membership. The votes will be counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.
4. The timetable for this procedure is as follows:

Announce nominations	by 31 August
Close nominations by petition	by 30 September
Mail a ballot, if required	by 31 October
Hold elections	by 30 November
5. A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

Article VI - Business Meeting

In order to transact business at a Section meeting, at least three (3) Section Executive Committee members must be present to constitute a quorum.

Article VII - Finances

1. All expenditures of Section funds must be approved by the Section Executive Committee.
2. Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can only be used for normal operations of the Section.
3. The Treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.
4. An assessment can be charged to members of the Tokyo Section in accordance with the IEEE Bylaws.

Article VIII - Amendments

1. Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by twenty percent (20%) or more voting members.
2. Amendment to or revocation of these Bylaws shall require a two thirds ($\frac{2}{3}$) majority vote of the Section Executive Committee.

3. Following the approval of the IEEE Tokyo Section, amended Section bylaws must be submitted to the IEEE Regional Activities Department (RAD) for review. RAD staff will then secure the approval of the Region Director, following up where necessary with the Section ExCom. The bylaws will not be effective until such time as they have been approved by the Regional Activities Board.

-
- The Tokyo Section Executive Committee approved the revision at its meeting on 29th March 2016.

事務局連絡先

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 機械振興会館 517 号室

Tel: 03-5776-7670

Fax: 03-5401-3850

Email: tokyosec@ieee-jp.org